

日立KHシリーズ

KH75・KH100-2・KH125-3・KH150-3

KH180-3・KH300-2・KH500・KH700-2・KH1000



日立建機

大型工事に、

熱望の 200t ぶりクローラクレーン、KH1000 が日立建機から登場。定評ある独自の全油圧駆動式に加えて、使用頻度の多い作業半径でのクレーン能力はズバ抜け、クラス最大を誇ります。さらに作業の応用範囲も広く、作業効率、経済性、安全性に優れ、大型機にもかかわらず分解・輸送を容易にした設計です。

年々、大型化する重量物荷役、橋梁架設工事、魚礁据付作業、高揚程の建設工事などに十二分に應える最強KH1000にご期待ください。

日立建機独自の 定評ある全油圧駆動式

●エンジン出力を 100% 生かす全馬力制御システム、クレーンなど高揚程作業時には高速巻上、クラムシェル作業時にはねばり強い力を発揮する可変容量型ポンプなど、油圧技術を結集した日立建機ならではのシステムにより、作業効率は抜群。操作性、安全性にも優れています。

高効率作業を実現 大きなクレーン能力

●クラス最大のクレーン能力
基本ヘビーデューティブーム15m時で、200t×5.0m。最大ブーム長さ93m、ジブ最長31m。この余裕に満ちたつり上能力のなかでも、使用頻度の多い作業半径での能力はズバ抜けて大きく、クラス最大。大形テトラポッドをはじめ魚礁据付作業などの重量物荷役を、安全に能率よく行ないます。
クレーンジブ仕様では、遠方ぶりで、主ブームぶり以上の作業半径とクレーン能力を発揮し、従来のジブ付作業のイメージを一新しました。

このほか、高層建築物、大型プラント建設工事に威力を発揮するタワーブームぶりも可能なタワークレーンをそろえ、幅広い用途に適應できます。

●大型ウインチ

主巻・補巻ともそれぞれ単独モータを装備した完全独立の2軸式を採用。さらに、減速機は内蔵形にしたためにドラム幅が広くなり、ロープの巻取容量も大きくなって、作業範囲がいちだんとワイドになりました。



●低燃費エンジン

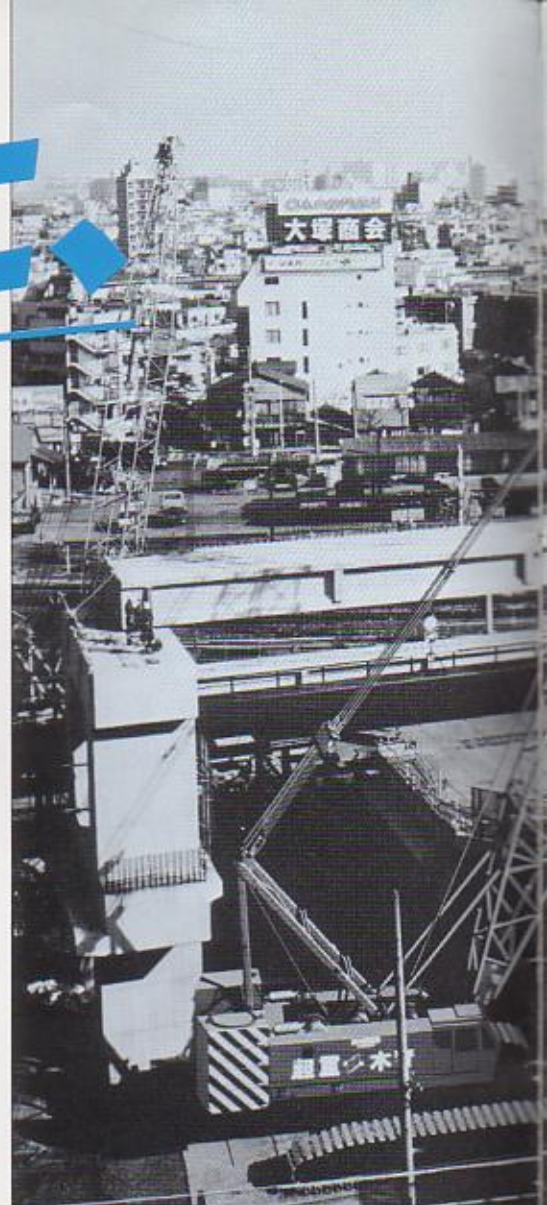
省エネ時代に呼応した「いすゞ12PB1」直噴エンジンを搭載。

●フローティング用途に應える大きな旋回力。

●主巻・補巻は放熱フィン付でバケット作業時ドラムの放熱効果がよい。

作業にあった、クラッチ、 ブレーキの制御方式の選択が可能

●クレーン作業時は巻上レバー中立の時、自動的にブレーキが作動するネグブレーキ方式。また、バケット作業時は巻上レバー中立の時、自由降下が行なえるポジブレーキ方式が、レバー1本のワンタッチ操作で切換えが可能です。それにより、高いインテグリティを求められる作業に十二分に應えたことはもちろんのこと、作業の応用範囲も広げ作業効率をグンとアップ。そのうえ、安全性も向上。しかも、操作レバー中立時は、巻上モータが停止しますので、経済性と耐久性に富んでいます。



●ウインチが3段変速

主巻・補巻のロープ速度は、可変ポンプと2速モータの組合わせにより「高速・中速・低速」の3段変速を採用。作業用途に応じて使い分けられ作業性が大幅向上。安全性にも優れています。

狭い現場での移動も容易 優れた小まわり性能

●クローラは左右独立駆動方式で、大型にもかかわらず、スピンターン、ピボットターンが可能、狭い現場での小まわり性能に優れています。

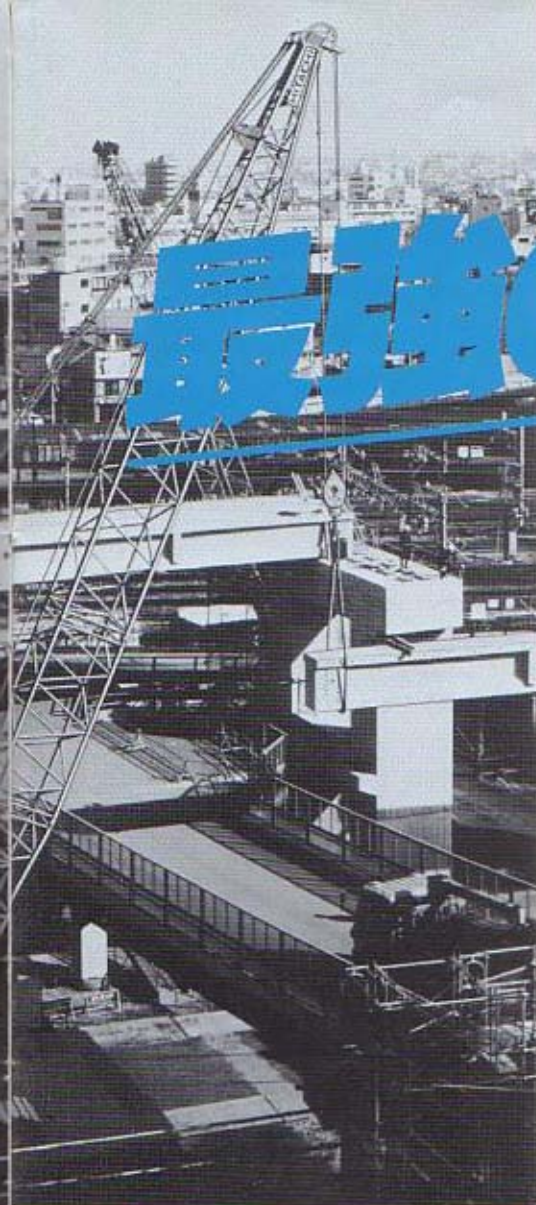
また、走行しながらの旋回も容易に行なえます。

●サイドフレームは伸縮式

狭い現場で移動する場合は、クローラ幅を縮めて容易に移動できます。

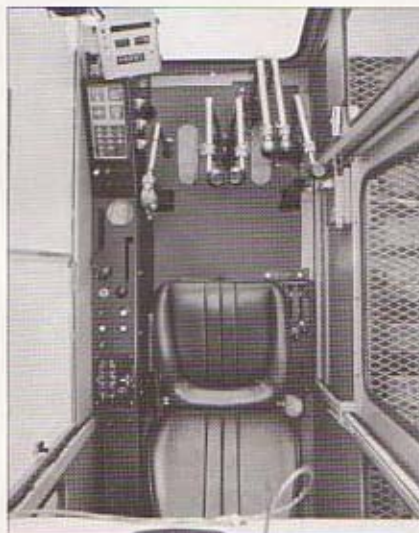


最強の200tづくり。



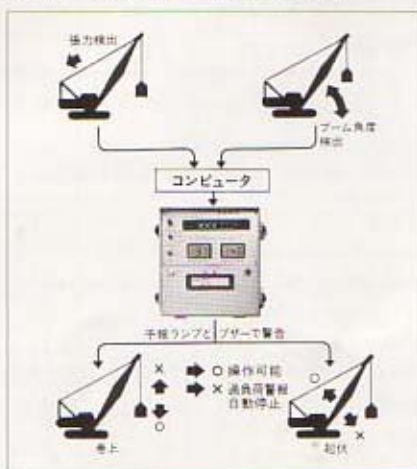
騒音・振動の少ない 快適な独立キャブ

- キャブは、騒音・振動の少ない独立キャブ。加えて、風通しの良い5面ガラス張で全周視界確保。さらにフロア式操作レバーで、前方視界がとくに良好。さらに、レバー、ペダル類は合理的に配置されています。
- 運転席はヘッドレスト付クライニングシートで、上下・前後の位置調整が可能です。



キメ細かい安全装置

●クレーンの転倒事故や損壊事故を未然に防ぐ電子式過負荷防止装置〈日立ハイリミッタ〉を装備。指示計は見やすいデジタル式で、スイッチの切換えにより〈限界荷重と実荷重〉〈ブーム角度と負荷率〉〈限界作業半径と実作業半径〉の3通りの表示ができます。ブーム起伏力による荷重検出方式のため検出器によるロープの損傷は無くなりました。



- バッテリーチャージ、燃料レベル、エンジンオイル圧などの点検モニターを運転室内に装備。稼働開始時に各機能がチェックできるとともに、異常時や燃料補給時にはランプにて知らせます。



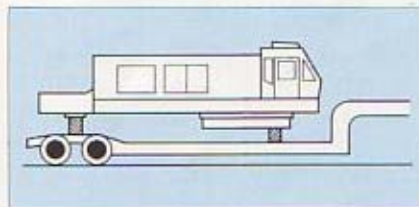
- フックのロープ外れ止め、旋回パーキングブレーキ、旋回ロック、主巻・補巻、ブーム起伏ドラムロック装置などを装備しています。

手間いらずの保守・点検

- 足まわりの下ローラ、タンブラはフローティングシールを採用。日常給脂の必要がありません。
- 旋回輪は、給脂頻度が少なく手間がかかりません。
- 減速機構（歯車類）は、旋回最終段を除きすべてオイルバス入り。摩耗が少なく長寿命です。
- 日常給脂箇所はブームフット部の、わずか2箇所です。

大型機ながら 分解・組立、輸送が簡単

- 本体はカウンタウエイト、上部旋回体、トラックフレーム、両側サイドフレームなど分解が容易に行なえる構造になっています。



- 本体には輸送時分解・組立のためのAフレーム昇降シリング、旋回輪油圧締結装置、そしてオプションとして上下分解用アウトリガ、サイドフレーム伸縮シリングなどを備えています。また、ブームの分解・組立はピンジョイント式でスピーディに行なえます。

